

5 / 14

青空の下で全力疾走!

第21回宝満つばきマラソン大会

筑紫野市体育協会が主催する、第21回宝満つばきマラソン大会が筑紫運動広場で開催されました。天候にも恵まれ、昨年の参加者をはるかに超える1300人以上が参加しました。

600m、800m、1500mといった個人種目のほか、チームで対抗する10分の1マラソン、420人が100mずつ走り、合計タイムでフルマラソンの世界記録に挑戦する420人リレーが行われました。



420人リレーでは、ケニアのデニス・キメット選手が持つ世界記録2時間2分57秒に対し、リレーチームの記録は2時間12分10秒。惜しくも世界記録には届きませんでしたが、昨年の記録より1分42秒もタイムを縮め、また一步、世界記録に近づきました。走ることに自信がある人は、来年参加して、みんなで世界の頂点を目指しませんか?



5 / 21

図鑑の、あの鳥も見れたよ!

初心者のためのバードウォッチング

天拝山において、日本野鳥の会福岡支部の協力のもと二日市コミュニティセンターが主催する「初心者のためのバードウォッチング」が行われました。

この日はカイツブリ、シジュウカラなど22種の野鳥が確認できました。野鳥の親子も多く見ることができ、参加した小学生はカラスは悪さをしているイメージしかなかったけど、子育てしている様子を見て子どもへの愛情を感じました」と、感想を發表していました。



次回は11月19日(日)に開催されます

5 / 9

手話でコミュニケーションを!

手話奉仕員養成講座開講式

カミーリヤで、手話奉仕員養成講座開講式が行われました。これから1年をかけて講義が行われ、修了した人は筑紫野市手話の会で福祉活動を行ったり、さらに試験などをうけて手話通訳士になることを目指します。

市では、聴覚障害をもつ人が社会的に自由に生きられることを目指す「手話言語法」制定についての請願が連名で議会提出され、全員一致で採択されています。

聴覚障害をもつ人への理解を深め、誰もが簡単にコミュニケーションを取れる世界を目指して、楽しく手話を学びます。



今年度は31人が受講し、卒業後はさまざまな場面で活躍します